

メイプルナーサリー/保育園

保護者の方々のお手紙を紹介します。

私は、娘を箕面レディースクリニックで無事に出産することができ、1年の育児休暇の後、もとの職場に復帰すると同時期の娘が1歳になる月に入園しました。この時から、私は育児、家事、仕事を両立する生活娘は初めて体験するお友達との集団生活で、母娘とも不安の中、新しい生活がスタートすることになりました。初めの1週間ほどは、毎日のように泣いている娘でした。そんな娘を見ているとさらに私も不安になりましたが、先生方やお友達のおかげでしょうか、娘の表情が日に日に変わっていき、とても嬉しそうに登園するようになりました。そんな娘が成長していく姿を見ていると不安だった頃を忘れるほどで、娘をサポートして下さっている先生方への感謝の気持ちでいっぱいです。また、とても素直で可愛いたくさんのお友達と娘がふれあっていることも喜んでます。最後に信頼できる先生方と出会えたことを大変嬉しく思い、残りのメイプルナーサリーでの生活を親子共々1日1日を大切にもっともっと成長していければと思っています。 山内明依(母 久美子)



初めて見学に伺った時、ちょうどおやつ時間で、小さな子供達がきちんとイスに座り大人しく食事をしているのを目の当たりにしびっくりした事を今でも鮮明に覚えています。入園時、息子は1歳2ヵ月で長時間座る事はもちろん、食事の時も走り回っていましたのでみんなと同じ事が出来るかとても心配でしたが、保育園初日の帰宅後には、自らイスに座り食事をとれるようになっていました。毎日色々な事を覚えメイプルナーサリーでお世話になって4ヵ月、今ではすっかりお兄ちゃん達に近づいてきたようで、息子の成長をととてもうれしく思います。毎日書いて頂いている連絡帳で、日中の様子が良くわかるので食事や体調も管理しやすく安心しています。又、微妙な体調の変化や様子の変化にも先生方が親身に相談に乗って下さるので、本当にありがたく思っております。そして何より息子が喜んで保育園に行く環境を作って下さった事を感謝しています。やんちゃな息子でご面倒をお掛けする事が沢山あると思いますが、どうぞこれからも宜しくお願い致します。



妊娠中にメイプルナーサリーの事を知りました。職場復帰に備えてどこかよい保育園はないかと探していたところ、保育時間が7:30~19:30までと長く、病児保育があるというのでここに決めました。祖父母が近くにいない私たち夫婦にとって、病気の時に預かってもらえるというのは大きなポイントです。実際、2月に入園してから2ヵ月程は病気ばかりしていましたので、この制度があって本当に助かりました。今はすっかり保育園に慣れ、毎日元気に通っています。毎日やりとりしている連絡帳に、その日の出来事が詳しく書かれているので、今日はこんな事をしたんだとか、こんな事もできるようになったんだと、読むのが楽しみです。しつめちゃんとしていただいているようで、先日、家では教えていないのにお皿に手を添えてスプーンを使っているのを見て驚きました。よい保育園にめぐりあって本当によかったと感謝しています。 松永道子(大介の母)



あれ、絵本の紹介



たまごのあかちゃん
出版社 福音館書店
著者 かんざわ としこ
画家 やぎゅう げんいちろう

「たまごのなかでかくれんぼしてるあかちゃんはある?でておいでよ」という文章で始まるこの絵本は子どもの目を見張らせます。ページをめくると、「ぴっぴっぴっ ここにちは にわとりのあかちゃん こんにちは!」美しい色彩の中に、次々とたまごの中から生まれてくる赤ちゃん。1ページごとにめくっていくのが楽しくなる絵本です



きんぎょがにげた
〈出版社〉福音館書店 〈著者〉五味 太郎

五味太郎さんのハツとするような美しい色彩の絵本です。「きんぎょが にげたどこに にげた」ときんぎょを次々と探す絵本です。ページをめくる毎に、あまりに美しい色彩が目飛び込んできます。「ほら また にげた」親子で一緒に探して楽しみましょう。



はらぺこあおむし
〈出版社〉偕成社 〈著者〉エリック・カール 〈翻訳者〉もり ひさし

葉っぱの上の小さなたまごから生まれたあおむしは、おなかかへこへこ。月曜日から金曜日まで毎日いろいろな果物を一つずつたくさん食べ、土曜日にはお腹が痛くなってしまいます。

そして、日曜日に緑の葉っぱを食べて元気になったあおむしは、まゆを作り、その後きれいな蝶に変身していきます。さなぎから飛び出して美しいあげばが見開きページいっぱい羽を広げる場面は息をのむあでやかさです。